

LNGバンカリング拠点の形成

近年、国際的な船舶の排出ガス規制の強化が進展し、排出ガスのクリーンな**LNG(液化天然ガス)**を燃料とする船舶の増大が見込まれている。

我が国は、**世界最大のLNG輸入国**であり、**既存のLNG基地が多数立地**していることから、シンガポールと連携しつつ、**我が国においてLNGバンカリング拠点の形成を図る**。具体的には、LNGバンカリングに関する国際連携方策の検討等を行う。これにより、国際海上輸送分野における新たな市場を開拓するとともに、**我が国港湾へのコンテナ航路の寄港増**を図る。



国際的な船舶からの排出ガス規制

(※早ければ2020年より、一般海域においてもSO_x(硫黄酸化物)の規制強化が開始予定)

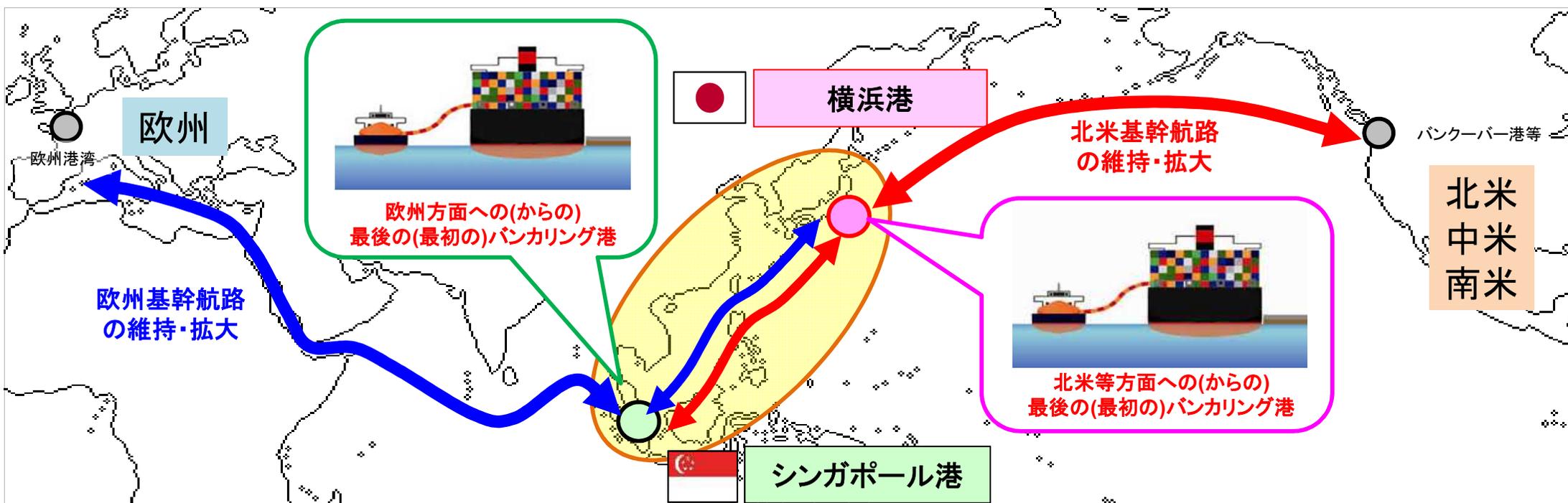


船舶用燃料の石炭から重油以来の大転換



提供: 日本郵船(株) LNG燃料供給船

燃料供給イメージ



横浜港とシンガポール港の国際連携によるLNGバンカリング拠点の形成(イメージ)